



京都大学

設置期間 2016年9月～2020年3月

委託者 国土交通省観光庁・日本経済新聞社

「観光経営科学MBAプログラムの研究開発」

若林直樹 教授

観光クラスターでの集積とその競争力の重要性

前川佳一 特定教授

合理的な経営判断と非合理的な意思や慮りの関係をとことん考える

若林靖永 教授

観光サービスにおける起業およびサービス・イノベーションを推進

増田央 特定講師

先進的な実務事例の調査・分析

教員紹介

若林直樹 教授

専門分野

観光分野のネットワーク組織、観光クラスターと競争力サービスの人的資源管理論

Message

観光産業では、航空会社やホテルだけではなく、観光地経営においても、多くの企業や自治体、団体による戦略提携とそれによる事業展開が内外で一般化しています。

戦略提携の強みは、ネットワーク組織による資源や知識の活用ですがその経営には難しさもあります。観光クラスターでの集積とその競争力も現在では、観光経営では大きなテーマとなっています。

前川佳一 特定教授

専門分野

イノベーション、サービス経営、観光

Message

経営戦略の中でも、イノベーション全般を研究・教育対象と考えています。それはモノづくりだけではなく、サービス業、老舗、観光なども含みます。

特に観光の経営分野でこれから求められるのは、合理的な経営判断と、一見すると非合理的な意志や慮り、そしてそれらの関りを、とことん考えることではないでしょうか。

若林靖永 教授

専門分野

マーケティング・流通・商業

Message

観光 MBA コースにおいては、観光ビジネスをマーケティング視点でマネジメント改革をすすめること、観光地を戦略的にマーケティングするDMOを日本各地につくりだしていくこと、そして観光サービスにおける起業およびサービス・イノベーションを推進していくことに関する教育・研究にみなさんとともにとりこんでいきたいと思っています。

増田央 特定講師

専門分野

サービス科学、マーケティング・リサーチ、観光事例分析

Message

成熟化した経済においては、顧客・提供者の多様なコンテキスト（背景知識）の差異を考慮したサービス設計やマーケティング調査手法・分析モデルが重要になると考えます。そのような多様なコンテキストの取り扱いの観点から、観光産業における先進的な実務事例の調査・分析を行なっていきます。

講義

◎ 観光事業戦略論 / 京都観光・文化論 / デスティネーション・マネジメント論 / Global Tourism and Hospitality Management など



授業の様子